2024年度
活動報告書

自　　2024年 4 月　1 日
至　　2025年 3 月 31 日

特定非営利活動法人　PVネット兵庫グローバルサービス

1. 活動の趣旨・目的

PVネット兵庫グローバルサービスでは、自然エネルギーの普及啓発に関する事業を行い、CO_2オフセットによって地球温暖化防止に寄与することを目的として活動している。

2024年度は、自然エネルギーに関する情報提供をするために、例年恒例となっているフォーラムや、セミナー、勉強会等のイベントを開催するとともに、神戸市灘区六甲川水車新田における小水力発電設備設置エリアを活用した脱炭素,、自然との共生に貢献する活動を実施した。

各活動においては、脱炭素、資源循環、防災をキーワードとして推進した。

2. 主な活動項目

活動1　啓発活動

1)県民向けセミナー、フォーラムを開催
2)太陽光発電関連勉強会を開催
3)他団体・教育機関主催のイベント支援・協力

活動2　里山林整備と資源活用

1）立入りが安全な里山林整備
2）里山資源の有効活用

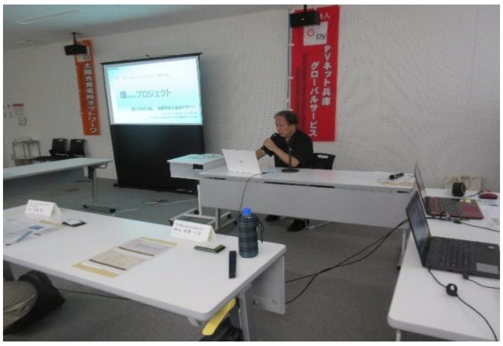
活動3 『学びの場』『憩いの場』作り

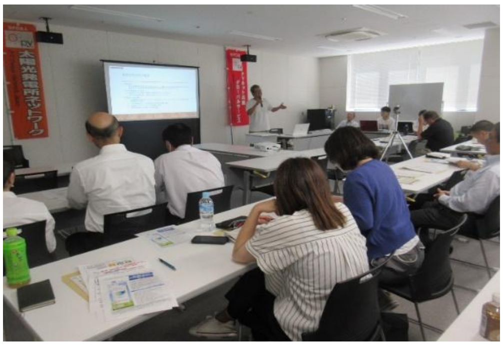
1)発電所の森の視察者・見学者受け入れ
2)里山林の資源を活かしたイベント開催

３．活動１（啓発活動）で実施した内容

３．１　（第７回）自然エネルギーセミナー2024開催

テ　ー　マ　：　脱炭素化×地域資源活用～六甲山周辺を活動フィールドとする脱炭素への取組み～
日　　時　　：　2024年7月18日（木）14時～16時30分
会　　場　　：　神戸市中央区文化センター　1103＋1104会議室（ZOOMによるオンライン参加併用）
参加者　　　：　会場参加　39名、遠隔参加　13名　計52名
内　　容　　：　講演1：　「六甲山上と神戸の食をつなぐエネルギーの地産地消」
　　　　　　　　　　　　神戸新聞社経営企画部　専任部長　辻本一好　氏
　　　　　　　　講演2：　「六甲山上の里山の整備および利活用に関する学校や民間団体との連携活動を通じた持続可能な地域づくり 」
　　　　　　　　　　　　神戸大学経営学研究科教授　松嶋登　氏
　　　　　　　　報告：　「六甲川水車新田発電所の森における地域・里山資源活用と脱炭素への取り組み」
　　　　　　　　　　　　PVネット兵庫グローバルサービス　副理事長　林　洋幸


辻本一好　氏　講演


松嶋登　氏　　講演

林　洋幸　副理事長　報告

３．２　（第13回）自然エネルギーフォーラム2024開催

テーマ：「持続可能な地域社会実現に向けて」～気候危機時代の防災・減災～
日　　時　　：　2024年12月1日（日）　14時～16時30分
会　　場　　：　こうべまちづくり会館　2Fホール（ZOOMによるオンライン参加併用）
参加者　　　：　42名（会場28名、オンライン14名）
内　　容　　：　講演1 「気候変動リスクを踏まえた防災・減災への兵庫県の取組み」
　　　　　　　　　　　　兵庫県信用保証協会理事長　遠藤　英二　氏
　　　　　　　　講演2 「気候変動により影響を受ける自然災害に対する減災まちづくり」
　　　　　　　　　　　　兵庫県立大学 減災復興政策研究科　教授 馬場 美智子 氏
　　　　　　　　報告 「PVネット兵庫グローバルサービスの活動状況」
　　　　　　　　　　　　PVネット兵庫グローバルサービス 副理事長
　　　　　　　　　　　　林　洋幸

北方　龍一　理事長　挨拶

遠藤　英二　氏　講演

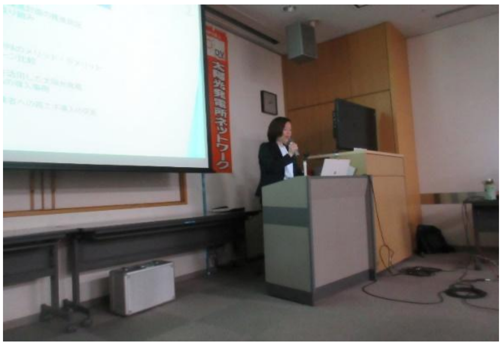
馬場 美智子　氏　講演

林　洋幸 副理事長　報告

３．３　太陽光発電関連勉強会開催

太陽光発電の導入を加速するための解決策として、オンサイト PPA（いわゆる電力購入契約）やリースなどに代表される初期費用 0 円モデルが有効と言われています。
本勉強会は、「PPA方式によるゼロ円ソーラーとは」と題して開催し、個人向け、事業者向け、自治体向けそれぞれの取り組み状況、普及状況について知る機会とした。

日　　時　　：　2024年10月18日（金）　14時～16時
会　　場　　：　神戸市長田区文化センター別館ピフレ　会議室A（ZOOMによるオンライン参加併用）
参加者　　：　48名（会場　27名、オンライン21名）
内　　容　　：　講演1：「県有施設へのPPA方式を活用した太陽光発電の導入」
　　　　　　　　　　兵庫県環境部環境政策課温暖化対策官　井川 あゆみ　氏
　　　　　　　　講演2：「京都0円ソーラープラットフォーム事業について」
　　　　　　　　　　京都府総合政策環境部脱炭素社会推進課課長補佐 今仲 教裕　氏
　　　　　　　　講演3：「オンサイトPPAモデルによる電力調達について」
　　　　　　　　　　福知山市産業政策部エネルギー・環境戦略課係長　足立 訓章　氏



井川 あゆみ　氏　講演(

今仲 教裕　氏　講演

足立 訓章　氏　講演

３．４　他団体主催のイベントでの支援・協力

（1）灘中学校3年生公民科授業への協力

開催日　　：2024年10月10日（木）5，6時間目（13時10分～15時）

対象授業　：「地域の活動から社会を知り、中学生として発信する」（中３公民）で、地域でそれぞれの課題解決に向けて活動しているNPO法人よりその活動内容や課題についての話しを聞き、その上で、生徒たちが自ら学習を深め、探究活動を行うもの。

講師　　　：岡本　光代（PVネット兵庫）

内容　　　：PVネット兵庫グローバルサービスは環境の分野担当で、団体の紹介、六甲川水車新田小水力発電の設置経緯と苦労話、発電設備設置エリアでの里山資源活用の話、地球沸騰 化による気候危機の話等を20分ほどで実施。

（2）第20期灘大学での講師担当

日　時　　：2024年11月9日（土）　10:00～11:30

講義タイトル：

「灘区水車新田周辺の歴史と都市型小水力発電の設置について」

講　師　　：NPO法人PVネット兵庫グローバルサービス
理事長　北方　龍一、副理事長　河原　一郎

内　容　　：小水力発電設置の動機にも繋がる灘の歴史についてこの地区に生まれ育った住民として見聞してきたことのお話を北方よりするとともに、小水力発電設置の経緯から設置工事完了・発電開始までの様々な苦労話や、その後の設備設置エリアを活用した脱炭素地域づくりについてお話を河原より紹介した。

（3「地球環境と産業化研究会（SGEIS）」企画の 見学・学習会での講師担当

日　時　　：2024年11月10日（土）　13:30～16:30

テーマ　　：小水力発電の現場を見て学習して、自分が出来ることを考えよう！

講　師　　：六甲川水車新田見学案内と講演
NPO法人PV ネット兵庫グローバルサービス 河原一郎 ・岡本純一
神戸市水道局東灘第1 低層配水場の紹介講演
株式会社鴻池組 新井祐作 氏・松尾多嘉久 氏

内　容　　：小水力発電をテーマに「六甲川水車新田」の現場見学と「神戸市水道局東灘第1低層配水場」の事例紹介により、小水力発電について学び、CO_2削減効果や事業内容などについて深掘りし、参加者どうしで意見交換を通して、自分に出来ることを考える。

「六甲川水車新田」現場見学

六甲川小水力発電事業紹介

4．活動2（里山整備と資源活用）で実施した内容

里山林整備対象森林　位置図

4．1　立入りが安全な里山林整備

狙い：当該の森は多年にわたり放置されていたため荒廃し、立枯れ木・折損木が多く除去するとともに、大径化した樹木の間伐により森を若返らせCO_2吸収力を高める。

成果：見学者受け入れ時の安全確保。
日差しが適度に差し込むことによる植生の回復。

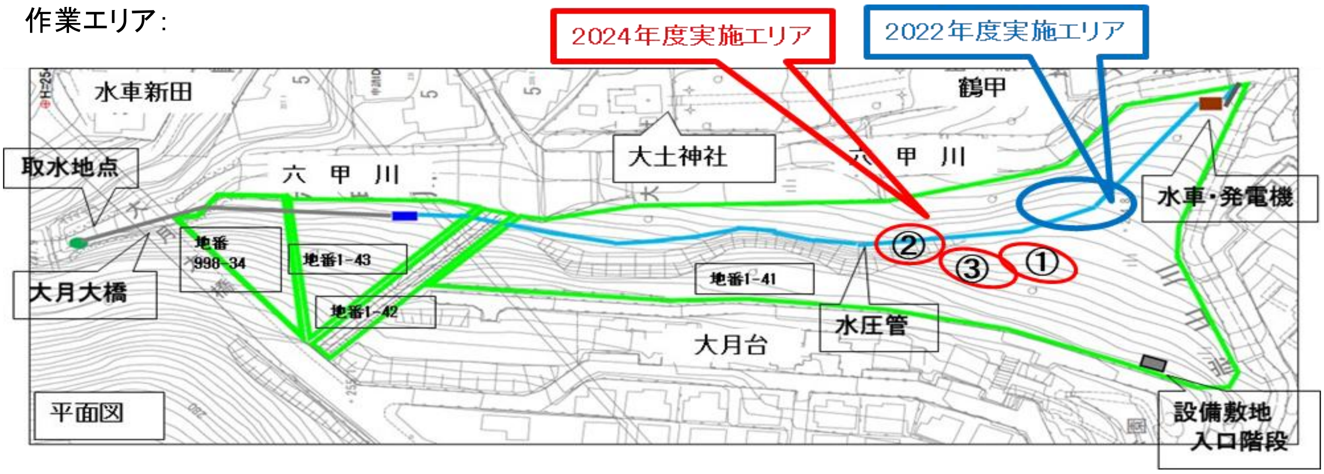
（1）大径木伐倒、架かり木除去、危険木伐採・除去

実施日：2024年１１月19日,20日　８時半～16時

委託先：木もれび舎

作業概要：①大径木伐倒　　２本
　薪割作業域　アベマキ大径木とニセアカシア大径木が上部でクロスしていたもの2本
②架かり木除去　　2本
　・薪割り場からすぐ上流の水圧管上部の架かり木除去
　・擁壁上部の枯れ枝除去
③危険木伐採・除去　　1本
　・旧シイタケ榾木伏せ場のすぐ東にあったニセアカシアの大径木が上部で折損して架かり木状態にあったので、架かり木を除去するとともに当該大径木の残り部分を伐倒。

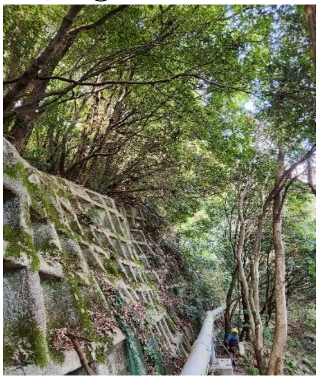
作業エリア：



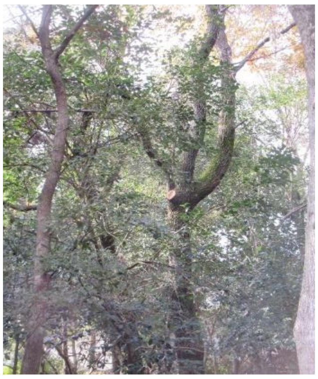
作業途中の写真

エリア①

エリア②



エリア③



（2）大径木伐倒

実施日：2024年12月21日　8時半～17時

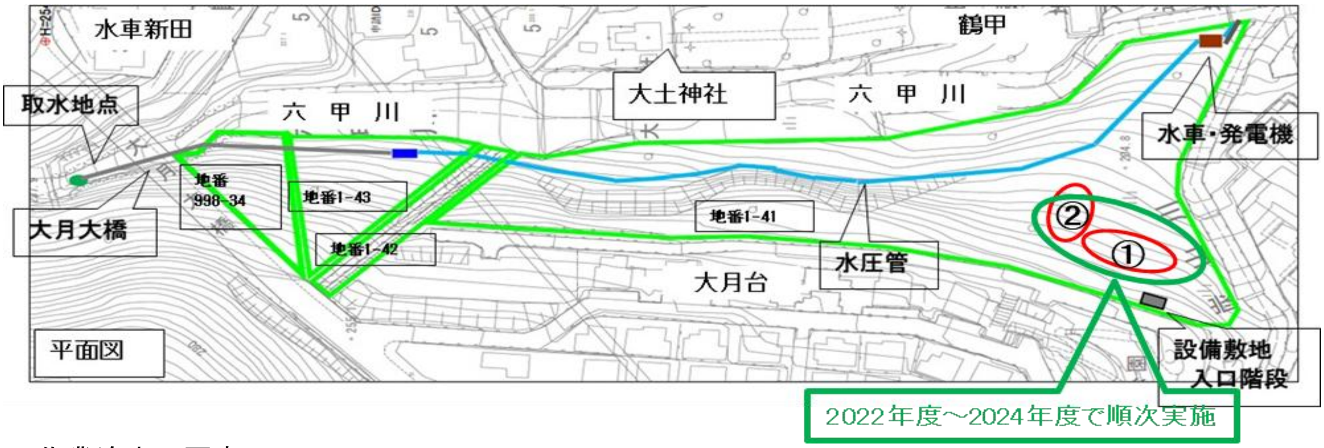
委託先：岡正林業

作業概要：①大径木伐倒　　アベマキ　2本、アラカシ　1本　　計3本

②作業支障木除去　　アラカシ　2本（二股状）　その他桜の古木、ニセアカシア　計2本

③その他、薪サイズ36センチ丈、枝の太い部分は榾木サイズ90センチ丈で切断

作業エリア：



作業途中の写真

エリア①

エリア②

（3）里山整備活動

①実施頻度

月１～２回の頻度で会員ならびに近隣ボランティア参加で里山整備活動を実施。

②実施内容

枯木、倒木整理、下草刈、薪割り用の玉切り、薪割、薪束作り、バイオ作り、遊歩道作り。

４．２ 山林資源の有効活用

（1）伐採樹木を利用した薪作り

オートバックスの系列店、FIELD SEVENで販売。

２０２４年度出荷薪束数　400束

薪利用による二酸化炭素排出削減量　　5.11トン－CO2

（2）伐採樹木の枝を利用したバイオ炭作り

実施日　　：2024年11月4日、2025年1月19日、2月16日

実施場所：六甲川水車新田小水力発電所内　広場

実施内容

①発電所の森内で伐採された樹木の枝をまとめて柴束作り

②無煙炭化器で炭化

③できたバイオ炭を袋詰め

炭化作業

出来上がった炭

（3）伐採樹木枝のチップ化

実施日：里山整備日に実施　'2024年6月1日、16日、7月21日、2025年1月4日

実施内容：チッパー（粉砕機）を使った木材チップ作りを実施。

できたチップについては地表面に散布することで地中への炭素貯留に寄与する。

粉砕作業

地表面散布

（4）休息用ベンチ製作
　里山整備活動時に休憩用に使用するベンチ5脚製作

（5）テーブル・ベンチ製作
　「発電所の森」内の広葉樹を木材として活用し、ベンチやテーブルを製作し、昨年度整地した広場に設置することで、里山資源の有効活用を図るとともに、学びの広場設備を充実させた。
成果： テーブル・ベンチ2セット、ベンチ二つ。

伐採樹木搬出(10月5日）

製材・加工材の搬入（11月12日）

テーブル・ベンチ製作・設置（11月17日）

5. 活動3 『学びの場』『憩いの場』作り

5. 1　発電所の森の視察者・見学者受け入れ

1）公的・教育機関による視察
　2機関12名
2）団体、個人による見学
　9団体55名　　　　　　　　計　67名

兵庫県立大学　環境人間学部環境人間学科
増原准教授研究室　2回生のフィールドワーク受け入れ

5. 2　里山林の資源を活かしたイベント開催

（1）竹あかり作りワークショップ開催
　日　時　：2024年10月6日10時～16時
　場　所　：舞子公園で開催の「うみかぜ音楽祭2024（テーマ環境）」に出展
　内　容　：竹をつかった「竹あかり」を親子で製作する

（2）植物観察会
　場　所　：六甲川水車新田小水力発電所内（発電所の森）
　講　師　：竹上　秀已　先生（六甲自然案内人の会会員）
　内　容　：講師の先生と小人数で森の中を散策しながらいろいろな植物
　　（樹木や草花）に出会い、見て、触って、匂いを嗅いで実感。
　（春バージョン）
　日時 ：2024年5月12日（日）10時～12時
　参加者 ：9組20名（大人15名、子供5名）
　（秋バージョン）
　日時 ：2024年9月29日（日）10時～12時
　参加者 ：8組16名（大人10名、子供6名）

（3）餅つき・防災イベント開催

日　時　　：2024年12月8日（土）9時～12時半

場　所　　：発電所の森内広場

概　要　　：災害時を想定した炊出しイベントとして、発電所の森内で伐採した木から作った薪を燃料として、時計ストーブでお湯を沸かし、もち米を蒸し、臼と杵で餅つきを、参加者全員で取り組んだ。

ねらい　　：参加者にバイオマス燃料（薪）の災害時の活用体験をしてもらうとともに、地域住民との交流を深める。

参加者　　：大人35名、子供12名

時計ストーブにより蒸籠で蒸しているところ
（発電所の森産の薪を利用）

出来立てを大根おろし和え、
小豆餡和え、黄な粉和え

（4）シイタケ菌打ち体験会開催

伐採した樹木の枝を榾木として活用し、椎茸菌の菌打ち実施。

日　時：2025年2月1日（土）10時～12時

場　所：六甲川水車新田小水力発電所内（発電所の森）

概　要：あらかじめ準備した榾木に穴を開け、椎茸の駒菌打ちをする作業を体験する。
希望者には短めの榾木に菌打ちして持ち帰り、自宅で椎茸を栽培する。

成果：発電所の森の里山化に関連して伐採したキノコ栽培に適した樹木を榾木として利用することで、地域資源の有効活用方法につい参加者に学んでもらえた。

参加者：参加者（6組、大人13名、子供9名）、スタッフ（6名）

榾木の穴あけ

椎茸菌の菌打ち

（5）グリーンウッドワーク講習会

①グリーンウッドワークワークショップ第１回目

概要：今後グリーンウッドワークワークショップを継続して開催していくにあたり、グリーンウッドワークの指導をメンバー自らができるようになり、また、ワークショップを実施する際に必要となる作業台や道具を作成し、充実することができた。

開催日時：10月24日（木）10時～17時
参 加 者：世話人6名
10月30日（水）10時～17時
参 加 者：世話人4名

開催場所：六甲川水車新田小水力発電所内（発電所の森）

講師：福畑慎吾　氏（cafe sotoオーナー、グリーンウッドワーカー）

②グリーンウッドワークワークショップ第２回目

概要：「発電所の森」内でグリーンウッドワークワークショップを開催するにあたり自前の作業台が必要とのことで、「発電所の森」内の広葉樹を木材として、グリーンウッドワークで使用する「削り馬」と呼ばれる作業台を製作した。

開催場所：能勢町cafe soto作業場

日時：1月29日（水）8時～12時、13時～17時
参 加 者：3名
1月30日（木）8時～12時、13時～17時
参 加 者：3名

指導：福畑慎吾　氏（cafe sotoオーナー、グリーンウッドワーカー）

受講内容：削り馬は、今後、PVネット兵庫として開催するグリーンウッドワークイベントで使用する作業台となるもので、発電所の森で伐採した木材を材料（製材した板材と玉切りした木材）として持ち込み、専門家所有の工具や作業台を使用して指導を受けて部品に加工し、各日3名が2日間掛けて最終的に2台の削り馬を完成させた。

６．補助、助成を受けた制度

制度：阪急阪神 未来のゆめ・まち基金市民団体助成
テーマ名称：
「小水力発電所の森における地域・里山資源活用と脱炭素への取り組み」
金額：５０万円

制度：コープこうべ環境基金
テーマ名称：
「都市近郊における小規模水力発電設備 設置 エリア を活用した里山林整備」
金額：２８．８万円

制度：KOBEゼロカーボン支援補助金
テーマ名称：
「小水力発電設備設置エリア内里山でのバイオ炭やチップによる 炭素貯留で ゼロカーボンに貢献する」
金額：１００万円

制度：ひょうご環境保全活動助成金
テーマ名称：
「都市近郊における小規模水力発電設備 設置 エリア を活用した里山林整備」
金額：１０万円

７．受賞等

2024年12月： 神戸SDGs表彰【功労賞】受賞

８．事業実施体制

①通常総会（第１１期）
年１回開催
２０２４年５月１７日開催

②理事会（第１２７回～第１３８回）
原則毎月開催

４月	２０２４年４月１９日(金)	１４時～１６時
５月	２０２４年５月１７日(金)	１５時～１６時半
６月	２０２４年６月１４日(金)	１４時～１６時
７月	２０２４年７月１２日(金)	１５時～１７時
８月	２０２４年８月２３日(金)	１４時～１６時
９月	２０２４年９月２０日(金)	１４時～１６時
１０月	２０２４年１０月１８日(金)	１４時～１６時
１１月	２０２４年１１月１５日(金)	１４時～１６時
１２月	２０２４年１２月２０日(金)	１５時半～１７時半
１月	２０２５年１月２４日(金)	１５時半～１７時半
２月	２０２５年２月２１日(金)	１４時～１６時
３月	２０２５年３月２６日(水)	１４時～１６時

以上